

2011年12月号

通巻 576号



圓環

発行所 生長の家ブラジル伝道本部

発行人 村上真理枝

だい 88 かい しんせい かい ほんれんせい かい 第88回神性開発一般練成会





せいちょう いえ きょうかそうちょう むかい よしお
生長の家ラテン・アメリカ教化総長 向 芳夫

「一年の積み重ね」

がっしょう ありがとうごさいます
合掌ありがとうございます

ねん はや おどろ いっしょう
1年のたつ速さに驚くのみです。一生のうち
いちねん いちばんなが かん さい
一年が一番長く感じるのは18歳までです、なぜ
なら18歳は一応青年として認められ一人前とし
て社会的行動ができ、私の時代には入場制限が
あり、映画館やカーニバルが行われていたクラ
ブに入場でき、自分でも一人前になった気分を味
わったことを記憶しております。その当時年配
の方から今が一番よい時代だよ、と言って20代
から30代は比較的充実した時代で仕事の決定、
結婚等があるが、それからは子育ての時代が50
代まで、60代では仕事に専念して時のながれが
ますますはや
益々早くなると聞かされましたが、現在私も70
代の後半になり、一年が飛ぶような速さを感じて
おります。

ことし がつ ねんまつ むか
今年もはや12月で年末を迎えておりますが、
ことし ぜんこく みなさま ぜつだい きょうりよく
今年も全国の皆様の絶大なるご協力によりブラジ
ル伝道本部で企画されたプログラムに従い全てが
じゆんちょう はこ
順調に運ばれておりますことを心から感謝もう
しあげます。

じんせい つ とこころいつしゆんいつしゆん つ かせ
人生とは詰まる所、一瞬一瞬の積み重ねに
ほかなりません。今のこの一秒の集積が一日と
なり、その一日の積み重ねが、一週間、一ヶ月、
いちねん ひと いっしょう
一年、そしてその人の一生となっていくのです。

わたし あゆ ふ かせ み ととき おお
私の歩みを振り返って見る時、どれだけ多
くの人にお世話になったか反省すると、唯感謝あ
るのみです。1955年パラナ州ウライ市で青年会

たんせいいいんちよう ふ だ きょうかし ぶ
単青委員長を振り出しで、 Rondriena 教化支部
せいねんかいちよう ねん じつ ねんかん
青年会長を1973年におわるまで実に18年間を
せいねんかいちよう す
青年会活動で過ごしました。1973年～1974年
を相愛会副連合会長、1974年～1976年 Rond
りena 相愛会長、この期間に現在の教化支部会館
けんせつ い いん きょうりよく ねん
建設の委員として協力し、1976年から1982
ねん ねん
年ポルトガル語連合会長として、教化支部で毎
すいようび よる ごと こうえん まいしゅう かくぎょうじ おこな
水曜日夜、ポ語の講演や毎週の各行事を行い、
こじんし どう
個人指導をさせていただきました。

ねん ねん だんどうほんぶ ほうしよく
1983年ブラジル伝道本部に奉職させていた
だき ねんせいぶちよう ふ だ ねん せいねんかいちよう
だき 練成部長を振り出しに、ブラジル相愛会長、
こうし きよくちよう だんどうほんぶ ふくり じちよう べいでんどうきよくちよう
講師局長、伝道本部副理事長、ラ米伝道局長、
ねんり じちよう ねん べいきょうかそうちようだいこう
1996年理事長、2001年ラ米教化総長代行、2004
ねんきょうかそうちようしゅうにん げんざい いた し だい
年教化総長に就任、現在に至っておる次第です。

きょうかし ぶ どうじ せいねんかい どうし
Rondriena 教化支部当時は青年会の同志と
やまもとまさひここうし すずき もといこうし にへい ようぞうこうし
して山本正彦講師、鈴木基 講師、二瓶洋三講師、
こうみょうじつせんい いんじ だい どうし せいねんかい
とは光明実践委員時代からの同志として青年会
かつどう たいへん おも
活動をしたことが大変なつかしく思いだされま
す。また1983年には故本田練雄本部講師のポ語
でんどう ぜ ひ きょうりよく しょうたい いただ
伝道に是非協力してもらいたいとの招待を頂き、
おも き でんどうほんぶ ほうしよく
思い切って伝道本部に奉職させていただきました。

げんざい し どう きょうりよく
現在まで、そのつどご指導ご協力くださった
かたがた あいねん げんざい わたし おも
方々のご愛念が現在の私をなしていると思うと
ねんまつ い ぜん し どう かたがたなら
き、年末にあたり以前ご指導いただいた方々並び
げんざい し どういただ ひとり ひとり ただただ
に現在なおご指導頂いているお一人お一人に唯々
かんしや みなさま よ
感謝あるのみです。皆様、好きクリスマスと好き
しんねん むか
新年をお迎えくださいませ。 さいがっしょう
再合掌



せいちょう いえ でんどうほんぶ り じちよう むらかみ ま り え
生長の家ブラジル伝道本部理事長 村上真理枝

「一年間、ありがとうございました！」

がっしょう ありがとうごさいます。
合掌、ありがとうございます。
みなさま いっしょ あか たの ちからづよ
皆様と一緒に、明るく、楽しく、力強く
せいちょう いえ じんるいこうみょうかうんどう こくさいへいわ しんこううんどう
生長の家の人類光明化運動・国際平和信仰運動を
おすすす せ むか
押し進めておりますうちに、早年の瀬を迎えま
した。今年日本や世界中でさまざまなつらいで
きごとがありました。その中で、平和な気持ち
に満たされて新年を思い描けますことを感謝せず
にはられません。3月の東日本大震災によって、
にくしん いえ がつ ひがしに ほんだいいんざい
肉親を亡くし、ケガを負い、家屋を失った人々には、
さぞつらい一年であったことと思います。そ
のような中にあっても、感謝の心を失わない人は
すばらしいと思います。例えば、インターネットの
ツイッターでは、次のような書き込みがありました。

「この地震がきっかけになって、失いかけてい
た日本人本来の良さが垣間見れた気がする。犯罪
はする様子はなく、助け合い、律儀、紳士の。
ふ だんに ほんじん つめ ひと おお ことじんてき かん
普段日本人は冷たい人が多い…って個人的に感じ
てるんだけど、多くの人が今回で「絆」を取り戻
しつつあるように見えて、それがなんか感動して、
泣けてくる」、「ホームで待ちくたびれていたら、
ホームレスの人達が寒いから敷けてダンボール
をくれた。いつも私たちは横目で流してるのに。
あたたかいです。」

ブラジルでも大豪雨によって家屋を失い、
にくしん うしな ひと すく ひと
肉親を失った人は少なくはありません。この人た
ちにとっては確かにつらい一年だったと思いますが、
クリスマスを迎えるにあたり、是非ともご
家族の皆様ともども感謝の心を芽生えさせ、生か
されている喜びを自覚して、心平和に新年を迎え
られますよう心よりご祈念致します。小さなこと
にも感動するような感謝の心を生きていくことにつ
いて、谷口恵美子先生は次のように『心の散歩道』
にお書き下さっております。

「今日のあなたは」
め みる あなた きょう
目の見えるあなた 今日どのような
うつく み
美しいものを見ましたか
みみ き きょう
耳の聞こえるあなた 今日どのような
うつく おんがく き
美しい 音楽を聴きましたか
くち きょう
口のきけるあなた 今日どのように
やさしく 話しましたか
ある きょう だれ
歩くことのできるあなた 今日誰のために
ある
歩きましたか
うご きょう
ベッドで動けないあなた 今日どなたに
ほほえみかけましたか
し しろはと し ひろば
この詩をよんで、『白鳩』誌の「おしゃべり広場」
に、小学三年生の次の投稿がありました。
め み みる おかげで にわ はくばい はなひとえだ
「目の見えるおかげで、庭の白梅の花一枝
お供えしました。
みみ き かげ たの
耳の聞こえるお陰で、インコと楽しく
お話できました。
くち おかげ ひと みち
口のきけるお陰で、こまった人に道あんないが
できました。
ある みち
歩くことのできるおかげで、道ばたのアキカン
を拾いました。
お日様のおかげで、ホカホカお布団に
にこにこねむれます。」

かみさま ご かん あ まえ
神様から五感をいただいて当たり前のように
せいかつ いただ こと かん
生活しておりますが、頂いたその五感をどれだけ
ひと やくだ かんが
人のために役立てているかを考えるとき、もっと
もっと出来ることがいっぱいあることを反省する
のであります。
ことし ねんかんせいちょう いえ うんどう お
今年も一年間生長の家の運動をすばらしく推
すす くだ ぜんこく みなさま ところ かんしやもう
し進めて下さいました全国の皆様に心より感謝申
あげ、よろこ へいわ み
し上げ、喜びと平和に満ちたすばらしいクリスマス
しんねん むか ところ いの
と新年を迎えられますよう、心よりお祈りいたします。
さいがっしょう
再合掌

年末のご挨拶



合掌ありがとうございます。

生長の家の人類光明化運動の行事が精力的に行われた2011年も暮れようとしていきます。

我々の兄弟姉妹の幸せを実現するために、努力を惜しまずご協力くださったすべての講師、伝道員、幹部や信徒の皆様へ感謝申し上げます。

「招神歌」には、「吾が業は吾が為すにあらず天地を、貫きて生きる祖神の権能」という言葉がありますが、今年のすべてのイベントが大盛況を収めましたのは、その一つ一つを神様が見守ってくださったからだと確信しております。

聖なる人類光明化運動を推進するために、惜しみない努力をささげ、ご尽力くださったすべての幹部の皆様へ感謝申し上げます。

どうもありがとうございました。

再合掌

生長の家ブラジル伝道本部講師局局長 宮裏 準治

年末のご挨拶



合掌ありがとうございます。

神のご指導、愛とご加護のおかげで、そして皆様の多大なるご協力のおかげで、達成や成功の多かった1年も終わろうとしています。

今年も、ラテン・アメリカ教化総長、向芳夫本部講師、そして生長の家ブラジル伝道本部理事長、村上真理枝本部講師のご指導のもと、生長の家の幹部は「人間神の子」のみ教えをすべてのブラジル人に伝え、多くの人々に喜びと幸せを届けるために、精一杯励んでまいりました。

この『円環』というメディアを通じて、皆様はブラジル全国で行われた生長の家のそれぞれの組織の活動予定、そして生長の家練成道場の予定についての情報を得て、イベント等への参加を計画されたことと思います。日本語、もしくはポルトガル語の光明講座を開催された教化支部の皆様のご活躍に敬意を表します。すべての光明講座が大盛況をおさめたのも、皆様一人ひとりの愛とご尽力があったからこそです。ブラジル全土どこでも皆様が、「人間神の子、完全円満」のすばらしいみ教えを分かち合い、参加できるため、来年も各単位組織、教化支部及び練成道場で全人類の光明化を目的とした多くの活動が予定されています。

皆様には楽しいクリスマス、そして内なる神が毎日、毎時完全に顕現されます新年でありますことをお祈り申し上げ、多大なるご協力に対する感謝の意を込めて、ご挨拶申し上げます。

再合掌

生長の家ブラジル相愛会々長 田丸ルイス秀雄

年末のご挨拶



合掌ありがとうございます。

クリスマスは、平和、親愛、友情、和解、そしてたくさんの愛に満ちたシーズンです。私たちブラジル生長の家白鳩会のメンバーは、祝福されたこの1年を通して、上記の思いで活動を行ってまいりました。

嬉しい成果を多くおさめた2011年の幕開けとなったのは、2月2日～6日にイビウーナ南米練成道場で539名の参加、日本語による白鳩会練成会でした。2月～11月にかけて、合計3,312名の方が参加された壮年・若鳩繁栄講演会がブラジル全国で行われ、参加者や運営に携わった皆様の心を、信仰と希望で満たすという目的を達成することができました。3月12日～13日は、子供見真会及び壮年・若鳩見真会がイビウーナ南米練成道場で開催され、親子同士の交流が活発に行われました。子供見真会には488名、壮年・若鳩見真会には489名が参加されました。4月にはカンピーナスでの壮年・若鳩交流が、6月には全国母親教室指導者研修会が、7月には2,753名参加の第25回ブラジル生長の家全国大会、8月には全国子供会指導者研修会が行われました。10月には、全国子供お話し大会、そして壮年・若鳩体験談発表大会が盛大に開催されました。1年の締めくくりとして、11月にサンパウロ市のアニエンビー・ホリデイ・インホテルで、恒例の壮年・若鳩特別講演会が開催され、大盛況をおさめました。まだまだやるべきことがたくさんあると自覚しておりますが、白鳩会リーダーの皆様のご尽力、ご活躍、そして愛のおかげで、最善を尽くしたという確信をもつことのできた1年でした。皆様楽しいクリスマスを過ごされることを心よりお祈り申し上げます。

生長の家ブラジル白鳩会々長 リリアン・スージ・バッフィ・ノリマツ

年末を迎えて



『円環』読者の皆様

合掌ありがとうございます。

年の瀬もせまっていますが、生長の家家族の皆様にとって、今年は大いに記念すべき年でした。教化支部において、日語青年会委員長を任命するという夢を共に叶えることができましたので、ブラジル生長の家にとって、歴史的な年だったといえるでしょう。

現在、すでに18の教化支部で日語青年会委員長が活躍しています。18の教化支部で、リーダー、つまり後継者の育成が順調に行われていることの裏づけです。生長の家家族の若い世代は、ひとびとを感化してやまないその粘り強さ、力、そして決断力をもって、相愛会や白鳩会の皆様と一緒に、しっかりと前進を続ける所存です。

この一年をすばらしいものにしてくださったすべての皆様へ感謝申し上げます。

再拜

生長の家ブラジル青年会々長 カルロス・アウベルト・ダ・シウヴァ

第88回神性開発一般練成会



いのあ しんそうかん しんけん いのさんか しゃ
祈り合いの神想観 — 真剣に祈る参加者。
Meditação Shinsokan de oração mútua.

こころのそこから湧き出づ喜び。
魅力ある講話に聞き入る受講生。



Alma pura e vibrante dos participantes do seminário.



去る9月9日より11日迄の3日間、イビウーナ南米練成道場に於いて、第88回「神性開発一般練成会が開催された。参加者は実行委員を含めて230名。3日間曇天に恵まれ、朝夕肌寒い、気持ちよい練成会日より日和であった。

担当は山岡正登講師。補佐・石井かず枝講師、山本ジュリア講師。

特別招待講師として、村上真理枝本部講師、石井ルイス本部講師補。

初日、岩坂彦太郎講師と前園敏子講師の司会で9時に開会が宣言され、実相礼拝と開会の祈りは山岡講師、開会の挨拶は、実行委員長・横山豊講師が行った。

練成会の心得を石井かず枝講師が行い、道場の歴史について説明されてから、心得について説明され、お互いが素晴らしい練成を受けられるような雰囲気を作りましようと思われた。

最初の講話は「神想観の意義」について

山岡講師は『神想観』は心の目で観ることで、毎日必ず一回は神想観をすることによって、すべてのことが円滑にスラスラと運んで行きますと説明された。

第2講話は「肉体と境遇とを良くする道」石井かず枝講師。石井講師は類は類を呼ぶ。人を刺す心がハチに刺される。どんなことが起きても、霊魂にとっては良いことである、と分かり易く説明された。

第3講話「浄心行の説明」山本ジュリア講師。

第4講話は、特別に招待された、村上本部講師の「宗教の目的は何であるか」

村上講師は宗教の目的は人間に真理を知らしめ、自己の本質を自覚せしめて、その人を根本的に開放することであると教法された。

第5講話は「父母への感謝の心」山岡講師。

山岡講師は『大調和の神示』にも、「父母に感謝し得ない者は神の心にならぬ」と



担当講師：向って右から、山本講師、村上本部講師、石井講師、山岡講師。

Os palestrantes.



あるように、生長の家では、父母に感謝する心が一番大切なことであると話された。続いて爆笑大会となり、ほとんど全員がコンクールに出場。会場いっぱい爆笑大会となった。5人の入賞者が選ばれ、横山ジョン講師が寄付された賞品を手には、はち切れんばかりの笑顔であった。

爆笑大会を終えて、夕食となり、梅原千鶴子講師の先導で『聖經天使の言葉』読誦。『浄心行』は山本ジュリア講師の指導で行われ、心を洗い清めて初日が終了した。2日目、司会は尾崎勝伝道員と奥山光子講師。

特別講話「幸運を呼ぶ話」で石井ルイス本部講師補は幸運を呼ぶには「心の法則」を応用することによって、誰でも幸運を呼びよせることができると教えられた。

夕食後、「先祖供養」を行って、ご先祖に感謝の誠を捧げ、「郷土際」で賑やかに歌や踊りを先祖に奉納し、参加者同士の



リクレーション：リズムのって軽やかなステップを踏む。 momentos de descontração



無限の喜び湧き出でよ！ 爆笑大会一決勝 Finalistas concurso do riso. Oh, alegria infinita!

親睦も深めて2日目が終わった。最終日、最初の行事は、山岡講師の「祈り合いの神想観の説明と実修。

山岡講師の説明が済んで実修に移り、色々の問題を抱え、その解決を願い祈って欲しい人、それらの人々の幸せを実相を願って祈る人、しばし静寂な「祈り合いの時間」が流れた。

癒された方達4、5人が体験を発表した。

結語「神一元の世界」で山岡講師は心が展開して、一切が始まる。心が動き出して、イビウーナへ行こうと決めた。現象に振り回される智慧でなく、神一元の世界への智慧に生きる。自覚することによって、自由自在の世界へ生きて行ける。

「決意発表」で参加者は、より一層の愛行を誓い、全員で『使命行進曲』を力強く斉唱し、実行委員が作ったトンネルを受講者全員が潜りぬけ、互いに再会を誓って終了した。

第40回生長の家ブラジル全国子供大会 第47回生長の家ブラジル相・白・青合同 子供・ジュニア全国お話大会



2011年10月22日生長の家伝道本部別館にて、全国子供・ジュニアお話大会が春半ばのさわやかな日に行われた。会場は活気みなぎる若者達、子供達、そしてそのご家族の皆様方でにぎやかな雰囲気の中、開催された。

開会宣言で幕開けされ、子供会旗入場のあと、日伯両国歌を斉唱し、その後生長の家ブラジル白鳩会副会長、山本ジュリア講師が「大調和の神示」を朗読された。

開会の挨拶は、生長の家ブラジル相愛会副会長、横山寿彰講師が行い、正しい日本語の勉強を基礎として、このような行事に皆さんが参加されるだけでも素晴らしい事だと云われた。

続いて、生長の家ブラジル伝道本部理事長、村上真理枝本部講師は、挨拶の中で

「600人以上の観客の前でお話をされる弁士の皆さん、貴方たちはもうすでに勝利者です！ブラジルの未来に輝く勝利者です！と、激励の言葉を弁士たちに送った。次いで、審査

委員長 松崎広子講師の審査についての説明があった。審査の基準は主に、音声、表現力、発音、間の取り方、内容、全体の調和や年齢にあったお話のものです。弁士の皆さんの紹介の後、聖北1の田中恵美さんが弁士代表として、誓いの言葉をのべた。

その後、次々と元気よく弁士たちが発表を行った。今年子供・ジュニアを含めて53名が地元での予選を勝ち取って大会に参加した。

発表の間に、子供会・ジュニア会のアトラクションがソロカバナ1、パラナ2、聖市第5、セントラル第1、セントラル第2によって行われた。

弁士の発表後、ブラジル日本語センターの青木敏枝先生、同じくセンターの弓場パウロ先生の審査の評価が行われ、成績が発表された。

最後に、世界平和の祈りを生長の家ブラジル青年会副会長高橋雅信伝道員によって行われ、全員で使命行進曲を元気よく斉唱して今大会は終了した。

団体総合・第一位 パラナ第2教化支部

(お話) こども・B		(お話) こども・A (以下敬称略)	
第1位	佐藤 臨 パラナ2	第1位	大西 めぐみ セントラル1
第2位	小野 よしお 聖市2	第2位	小村 みつとし 聖市5
第3位	池田 輝美 聖市5	第3位	利光 さら パラナ2
第4位	斉藤 たみ パウリスタ1	第4位	渋谷 由香 聖市6
第5位	矢野 めぐみ 聖市4	第5位	西本 なみえ 聖市1

(お話) ジュニア・B		(お話) ジュニア・A	
第1位	小沢 まい ノロエステ2	第1位	伊木 幸一 パラナ2
第2位	野村 ルカス パラナ1	第2位	内山田 とし パラナ1
第3位	中田 秀樹 ノロエステ1	第3位	青木 美恵 聖市5
第4位	角田 英明 ソロカバナ1	第4位	川村 けんぞう ブラジリア
第5位	大貫 ひかる 聖市3	第5位	井上 幸一 聖市2

(書き方) こども・B		(書き方) こども・A	
第1位	山積 ひでき パウリスタ1	第1位	高橋 かおり パラナ1
第2位	国分 まゆみ ノロエステ1	第2位	小野 リエ パウリスタ1
第3位	しまだ ゆめ パラナ1	第3位	利光 さら パラナ2
第4位	林 けんじ 聖市1	第4位	やまね ソフィア 南聖
第5位	加藤 まゆみ ABC	第5位	鏡田 えみ 聖市4

(書き方) ジュニア・B		(書き方) ジュニア・A	
第1位	渡辺 あけみ ブラジリア	第1位	川村 けんぞう ブラジリア
第2位	野村 ルカス パラナ1	第2位	金城 めぐみ パウリスタ1
第3位	村山 ゆきお パウリスタ1	第3位	青木 みさき パラナ6
第4位	森 カミラ ソロカバナ1	第4位	青木 美恵 聖市5
第5位	小沢 まい ノロエステ2	第5位	大貫 かおり 聖市3

(絵画) こども・B		(絵画) こども・A	
第1位	斉藤 たみ パウリスタ1	第1位	梅村 しずか ソロカバナ1
第2位	加藤 まゆみ ABC	第2位	郡司 えいじ パラナ1
第3位	大江 ペドロ ソロカバナ1	第3位	郷司山 ひかり セントラル1
第4位	前田 まさき 聖市6	第4位	田村 フラビア 聖市6
第5位	春藤 ゆみ 聖市5	第5位	山田 しずえ 聖市5

(絵画) ジュニア・B		(絵画) ジュニア・A	
第1位	鬼頭 清 ソロカバナ1	第1位	青木 ミサキ パラナ6
第2位	マシャド・ファビアナ 聖南西	第2位	川村 ゆり子 ノロエステ1
第3位	かつい ゆみ ソロカバナ2	第3位	赤木 ルシアナ パラナ1
第4位	渡辺 直美 聖市6	第4位	那須 まゆみ 聖南西
第5位	郷土山 えいじ セントラル1	第5位	山田 緑 聖市5

せいちょう いえ ぜんこく こども たいかい にゆうしょうしゃ 生長の家ブラジル全国子供大会入賞者

じゆんい ひだり 順位：左から1位、2位、3位、4位、5位



かいが ぐみにゆうしょうしゃ だいいり ふく
絵画こどもB組入賞者(代理含む)



かいが ぐみにゆうしょうしゃ だいいり ふく
絵画こどもA組入賞者



かいが ぐみにゆうしょうしゃ だいいり ふく
絵画ジュニアB組入賞者(代理含む)



かいが ぐみにゆうしょうしゃ だいいり ふく
絵画ジュニアA組入賞者(代理含む)



か かた ぐみにゆうしょうしゃ だいいり ふく
書き方こどもB組入賞者(代理含む)



か かた ぐみにゆうしょうしゃ だいいり ふく
書き方こどもA組入賞者(代理含む)



か かた ぐみにゆうしょうしゃ だいいり ふく
書き方ジュニアB組入賞者(代理も含む)



か かた ぐみにゆうしょうしゃ だいいり ふく
書き方ジュニアA組入賞者



はなし ぐみにゆうしょうしゃ
お話こどもB組入賞者



はなし ぐみにゆうしょうしゃ
お話こどもA組入賞者



はなし ぐみにゆうしょうしゃ
お話ジュニアB組入賞者



はなし ぐみにゆうしょうしゃ
お話ジュニアA組入賞者

新任・教化支部長 紹介

(Supervisores Regionais)

任期・2011年9月1日～2014年8月30日

(敬称略)

せいし 聖市 1 だんがみ よしみ 段上 好美		セントラール 2 しば ひろみ 芝 紘美	
せいし 聖市 2 うめはら ちずこ 梅原 千鶴子		せいほく 聖北 1 おおた ともひこ 太田 智彦	
せいし 聖市 3 さかた よしつぎ 坂田 吉次		せいほく 聖北 2 もりもと えみ 森本 恵美	
せいし 聖市 4 みやばら かずこ 宮原 和子		せいなんせい 聖南西 あんぼ ひさし 安保 寿	
せいし 聖市 5 よこやま ゆたか 横山 豊		サントス 1 あげな 安慶名 ジュリエッタ	
せいし 聖市 6 おおごし たまえ 大越 玉恵		なんせい 南聖 えんどう とらじゅう 遠藤 寅重	
ABC へばら みえこ 辺原 美枝子		アララクアラ 1 じょうだい ひろし 城代 洋	
セントラール 1 ひらの みちこ 平野 道子		アララクアラ 3 くもん 公文 ジョージ	

ノロエステ 1 たかはし ていじ 高橋 貞次		パラナ 5 わだ フェルナンド 和田 フェルナンド	
ノロエステ 2 しのだ ひろみ 篠田 広美		パラナ 6 すなやま アリッセ 砂山 アリッセ	
パウリスタ 1 いなむら よしお 稲村 良雄		マ州 1 ふるやま イベッチ 栄美 古山 イベッチ 栄美	
パウリスタ 2 あらまき けんいち 荒牧 謙一		マ州 2 やまもと えみこ 山本 恵美子	
ソロカバナ 1 ひえだ みつお 稗田 三秧		リオ州 1 いとう よしあき 伊藤 嘉章	
ソロカバナ 2 にしかわ ひろし 西川 広		ブラジリア いけだ エリザベッチ 池田 エリザベッチ	
パラナ 1 ささじま ひこえ 笹島 彦栄		ゴイアス いちい みちこ 市居 みち子	
パラナ 2 たきざわ さちこ 滝沢 幸子		パラー うえおか なおあき 上岡 尚昭	
パラナ 3 てい たかし 貞 隆司 パウロ		<div data-bbox="2298 1595 2903 1947" data-label="Text"> <p>「生命の歌」 ある日 輝く光明が わが胸に降って来た。 頭にも 手にも 足にも 花が降るように 落ちて来た。 わたしは光のうちに埋っ て呼吸苦しいほど光明を 吸う。やがてそれが私に 『生命』だとわかった。</p> </div> <div data-bbox="1753 1802 1814 1947" data-label="Text"> <p>写真・向芳夫</p> </div> <div data-bbox="2207 1802 2268 1947" data-label="Text"> <p>(智慧の言葉)</p> </div>	

れんさい しんり べんきょう だい かい
連載・真理の勉強(第5回)

『新しいチャンスするとき』

たにぐちせいちょうせんせいちよ
谷口清超先生著



ぼうりよく せ かい 暴力の世界

この世の中は、すべて自分の心が作り出す芝居や映画の筋のようなものだ。決して神様が作った世界ではなく、偶然のせいでも、固定した運命でもない。すべての筋書きは自分の心で作るのだから、いくら“嫌な人”がいるからといって、そこから逃げ出して行っても、その嫌な人は別の嫌な人に変わって現れてくるのである。それは丁度自分の姿が映っている鏡の前から逃げだしても、別の鏡には又自分の同じ姿が映って来るようなものである。

Rさんが家に帰ってからは、母とも顔を合わせづらく、家にも面白くない。親の顔は見たくないと思い、毎日夜半までフラフラと外で遊び回った。するとそのうちAに、家に帰ったことがバレてしまった。そこで彼は彼女をつけ回し、その後仕方なくダラダラと二年間彼とつき合っていた。しかしRさんはもともと彼が嫌いだったから、平成八年の秋には何とか別れて、別の男性(B)と付き合い始めたのである。

すると別れたAがそのことを知って、

さらに事態が悪化した。AはRさんにしつこく付きまとう。彼女を困らせるためか、Rさんの仕事場までやって来たり、Rさんの友人に、「相手の男は誰だか知らないか」と電話で聞いたり、どなり込んで行ったりした。RさんにもAは、「相手の男を殺してやる。どこの誰か教えてろ」

といい、包丁を持って追いかけて回した。Aは彼女を自分の所につれ戻したい一心だった。こうして彼女は再び彼にまっぴらになってアパートに連れ込まれ、毎日彼女を「許せない」といって、殴ったり、蹴ったり、包丁をもって来ておどしたりした。さらに風呂の中に沈められて、今にも窒息しそうになったこともあった。Rさんは、こんな状態だと、いつかきっと殺されると思い、何とかして逃げようと思う。すると彼はこう言うのだ。

「もしお前が逃げたりすると、お前の家族を殺してやる！」

その顔付きは普通の人の状態ではなかったそうだ。Rさんは恐くてたまらなかった。逃げると家族が何をされるか分からな

いと思うと、逃げるに逃げられず、悩み苦しんだ。そんなある日、Rさんはこっそり知り合いの人に電話して相談したのである。すると、

「一人で考えていても仕方がないから、親に相談しなさい。親だったら絶対に助けてくれるから……」

と忠告された。これはとてもよい忠告だ。結局親以外には、切羽詰ったギリギリの時、助けてくれる人はいないとも言える。がRさんは、その親を嫌って飛び出したので、こんな悲劇にまき込まれた。だから彼女はそれまで、どんな事があっても絶対親にだけは頼りたくないと思っていた。さらにこんな好き勝手なことばかりした自分を、今さら親が助けてくれるはずはないとも思い込んでいた。しかしAの暴力は次第にエスカレートしてくる。恐くて仕方がない。どうにも我慢できなくなり、遂にコッソリと家に逃げ帰って、父母に全部を話したのであった。

愛されている

すると父が、彼女の話の涙を流しながら聞いて下さった。そして、「何でお前は、一人でそんなに我慢してたんだ。そんなに辛い思いをしてたんだったら、どうしてお父さんに、一番先に相談してくれなかったんだ」

と話してくれた。Rさんが、「でも、家族が何をされるか分からないから、又彼の所にもどる……」
という、父はさらにこう言った。「相手の男が、包丁を持って来ようが、家で何をしようが、お父さんは刺されたって絶対にお前のことを護ってやるから、家にいなさい」

そう言って強い愛と意志を示し、彼女を引きとめてくれた。Rさんは、やっと気がついた。今まで自分は父に愛されていない、父は自分のことをどうでもいいと思っているんだと思い、父を憎み、反抗ばかりして来たが、本当は父は私をこんなにも愛していて下さったんだと、ハッキリ分かったのである。

でRさんは父が言う通り、しばらく家に隠れていたが、彼(A)からは毎日電話が掛かって来る。家の外でも見張っている。どうしても恐くてたまらない日が続いた。そんな時、生長の家を知っていた母から、宇治に練成道場があるという話を聞き、Rさんは宇治の道場にやって来た。しかしその時は、講話も聞かずにすぐ家に帰ってしまった。

するとその後再びAに出あったので、無理やりホテルに連れて行かれ、ロープで縛られ、ガムテープでグルグル巻きにされた。その上彼はこう言うのだ。

「俺はお前が生きている限り、幸せ

にはなれない。だから俺はお前を風呂に沈めて殺してやる」

そして実際に風呂に水を溜め始めた。Rさんは、ああ、自分はここで殺される、そう思ったが、彼は徹夜で何日もRさんを探し回ったために、疲れ果てていた。Rさんは縛られて逃げられない。そう思って安心したらしくついウトウトと眠り始めた。そのすきに、Rさんは必死の思いで部屋をぬけ出し、家まで逃げ帰った。しかしそれから、今度見つかると殺されるとおも、ちよっとの物音でも恐くてたまらなかつた。

その時、彼女は宇治の道場を思い出した。そして「もう宇治しかない」と思って道場へ来て、練成を受けることにした。こうして浄心行をして、「お父さん、有り難うございます、お母さん、有り難うございます」と真剣に唱えていると、今まで自分が父母に、何というひどい事をして来たんだらうと、心の底から反省されてきた。彼女が家を出て行った間、父母はどんなにか心配して、彼女が家に帰ってくることを

待っていて下さったのだと気が付いた。そんな父母のことを考えずに、親を心配させることばかりして来た自分は、本当に申し訳ないと思うと、涙がいくらでもこぼれ落ちて、止まらなかつた。

こうしてRさんはその後あらためて父母に心から謝り、両親ともすっかり和解し合うことが出来たのである。すると父も今ではもうすっかり健康になり、毎日仕事にも行っておられるようになった。Rさんも宇治の道場で生活しているうちに、今まで憎くてたまらなかつたAに対しても、少しずつ感謝することができるようになり、やがて、

「彼も幸せになってほしい」

と思う祈りをするようになっていった。つまりこうして赦しを行じ、その気持ちが深まるにつれて、それまで宇治に来た最初の五ヶ月間はしきりに電話をして来ていたAからも、その後は何の消息もなくなつたということを、この練成会でRさんは話して下さったのである。

- (01) 暴力 violência (02) 芝居 teatro, peça teatral (03) 筋、筋書き enredo
- (04) 固定 fixo (05) 運命 destino (06) 夜半 altas horas da noite (07) 付き合い relacionamento
- (08) 事態が悪化した a situação piorou (09) しつこく付きまとう perseguir insistentemente
- (10) どなり込んで行った foi protestar aos gritos (11) 一心 obsecado pela ideia de
- (12) 窒息 asfixiar (13) 顔付き fisionomia (14) こっそり secretamente (15) 忠告 aconselhar
- (16) 切羽詰まった estar em apuros (17) 悲劇 tragédia

- (18) 次第 aos poucos, gradativamente (19) 我慢できない não aguentar, não suportar
- (20) 意志を示し mostrar determinação, firmeza (21) 引きとめる deter, reter
- (22) 反抗 desobedecer (23) 見張る vigiar (24) 無理やり à força
- (25) ロープで縛られ amarrar com corda (26) 実際 de fato, na realidade
- (27) 徹夜 vigília, passar noites em claro (28) 疲れ果て esgotar-se, cair morto de cansaço
- (29) 物音 ruido, barulho (30) 真剣に唱えて recitar, entoar com seriedade
- (31) あらためて novamente, uma vez mais (32) 和解し合う reconciliar-se
- (33) 憎くてたまらなかつた tinha muito ódio (34) 行じる praticar (35) 消息 notícias

ち ほう だよ 地方便り



ノロエステ第2教化支部 (Bauru) は去る2011年6月1日に Pingo de Gente 児童養護施設を訪れ、冬着、浄財を寄付した。



セントラル第2教化支部は去る2011年6月6日に São Vicente de Paula 養老院を訪れ、食料品(40キロの鶏肉)と1.080個の紙オムツを寄贈した。

「訂正とお詫び」
『円環』10月号に寺前継雄講師の役職に誤りが有り、訂正してお詫び申し上げます。
訂正前：寺前継雄本部講師 訂正後：寺前継雄講師

28/09/2011 ~ 25/10/2011

圓環ご協力者ご芳名

(単位・レアイス)

聖市 6	荒木 ハツメ様	50,00	ノロエステ 1	篠崎 清 様	20,00
ABC (6月分)	伊藤 善作様	50,00	々	山本 フミ 様	20,00
パラナ 3	高倉 輝男様	50,00	々	谷口 等 様	20,00
々	岩本 エミ子様	40,00	々	安永 増弘 様	20,00
々	伊藤 義明様	50,00	々	別所 博 様	20,00
々	山田 ミチエ 様	50,00	々	赤星 スエリ 様	20,00
々	上田 テツオ 様	50,00	々	壁屋 幸恵 様	50,00
々	中島 アキエ 様	30,00	々	高田 妙子 様	30,00
々	中田 光広 様	50,00	々	谷口 藤子 様	30,00
々	北川 シズ子 様	30,00	々	徳永 八千代 様	30,00
々	江藤 ハツミ 様	35,00	々	藤田 みなみ 様	30,00
々	川江 春力 様	30,00	々	藤間 良子 様	30,00
々	江藤 マサキ 様	30,00	々	中尾 よし子 様	20,00
々	柳瀬 トシ子 様	30,00	ABC (10月分)	伊藤 善作 様	30,00
ノロエステ 1	川村 隆正 様	50,00	聖市 6-ジャ・センテナリオ	相・白会 様	50,00
々	川村 幸子 様	50,00	バイア	古市 マチ子 様	100,00
々	川村 和光 様	50,00	セントラル 2	教化支部 様	200,00
々	川村 秀子 様	50,00	聖市 2	重松 富子 様	30,00
々	川村 孝子 様	50,00	パラナ 1 (9月分)	古沢 哲男 様	20,00
々	遠藤 寛夫 様	30,00	パラナ 1	相愛会 様	50,00
々	豊 綾子 様	30,00	聖市 2 -- ヴィラ・ソニア	相・白会 様	300,00
々	出森 恵子 様	30,00	パラナ 1 (10月分)	古沢 哲男 様	20,00
々	西坂 俊夫 様	20,00	ソロカバナ 1	教化支部 様	300,00
々	豊 正夫 様	20,00	パラナ 2	佐藤 邦子 様	50,00

生長の家 塩椎の会俳壇

菜園に被害なかりし別れ霜 額額喜月
乳ねだり甘える仔馬寄せつけず
春めきて気むつかしくなる人も

巢立ち鳥親子縁切る刹那かな 仲宗根朝春
芥子菜の塩もみいたため食すむ
年ごとに桜を愛でて桜餅ち

芥子菜の浅漬け飽く迄旨く食へられる 立川 ゆづ
ブラジルは輝く未来移民の子
末孫が初奢る初給料でレストラン

三万の人出に湧き立つ独立祭 坂本 君枝
耳を振り尾を振り蛇を追ふ牧の牛
花卉展誕生祝いに欄を買ふ

想出も記録の一つ古日記 村松 里乃
古日記読み続けしも若き日の
憩の園我倅せの身分知り

黒母抱く青瞳の幼児よく笑ふ 荒巻 重乃
春寒し夜学帰りの子等想ふ
獄られたる犬を貰ひに息子と行きし

桜餅そなえてしのぶ父母の愛 城 良子
一人待つ検査の結果春寒し
野犬狩りまゆつりあげて捕え行く

美しきイッペーロオザの並木道 矢島 みどり
アマリリス小鉢に咲いて春を呼ぶ
霧深し大事故おこしアンシエッタ

音楽に聞き欲れるかに庭つつじ 木村都由子
桜餅葉ごと喰べれば桜の香
実母より乳母になつきし黒母の日

ゆるぎなき人の絆や震災忌 香山 和栄
独立祭大統領は移民の子
ガタガタスクールバス来る花マンガ

芥子菜の茎漬旨し食進む 立石 松男
春寒し雨降れば冬に逆もどり
桜餅法被を着たる美女揃ひ

芥子菜の浅漬け青く飯真白 湯田南山子
大いなる紅の毬なす花つつじ
生れ子の自由の世界黒母の日

姿なき蛙の合唱夜を通し 森西 茂行
緑濃き夏の風景生氣あり
ブラジルで夏正月が定着し

外国へ嫁入りする娘巢立ち似て 大沢 晴子
桜もち春のかほりのおすそわけ
からしなのほど良い辛さを保つ



ち ほうだよ 地方便利り

聖市第5教化支部は、去る2011年6月9日、Casa Espirita Apóstolo Simão Pedro 養老院を訪れ、食料品、日用品などを寄贈した。

各教化支部、又多くの会員の皆様から円環へのご芳志を頂き、誠にありがとうございます。皆様のご愛念を心より感謝申し上げます。

生長の家ブラジル全国子供大会

子供・ジュニア 絵画 A・B テーマ:「自然を愛しましょう」

Tema: Amor à Natureza

子供B組 (Kodomo)



1位 さいとう 斉藤 たみ
パウリスタ・1



2位 かとう 加藤 まゆみ
ABC



3位 おおえ 大江 ペドロ
ソロカバナ・1



4位 まえだ 前田 まさき
せいし 聖市・6



5位 はると 春藤 ゆみ
せいし 聖市・5

子供A組 (Kodomo)



1位 うめむら 梅村 しずか

ソロカバナ
ナ・1



2位 ぐんじ 郡司 えいじ
パラナ・1



3位 ごうしやま 郷司山 ひかり
セントラル・1



4位 たむら 田村 フラビア
せいし 聖市・6



5位 やまだ 山田 しずえ
せいし 聖市・5

ジュニアB組 (Junia)



1位 きどうきよし 鬼頭 清
ソロカバナ・1



2位 マシャド・ファビアナ
せいなんせい 聖南西



3位 かつい ゆみ
ソロカバナ・2



4位 わたなべ 渡辺 なおみ
せいし 聖市・6



5位 ごうしやま 郷士山 えいじ
セントラル・1

ジュニアA組 (Junia)



1位 あおき 青木 ミサキ
パラナ・6



2位 かわむら 川村 ゆり子
ノロエステ・1



3位 あかぎ 赤木 ルシアナ
パラナ・1



4位 なす 那須 まゆみ
せいなんせい 聖南西



5位 やまだ 山田 みどり
せいし 聖市・5